

日本看護研究学会中国・四国地方会 ニュース・レター No. 16

2008.9.1.

第22回学術集会 in 山口

- テーマ 臨床看護研究にいかす研究デザイン
- 日時 平成21年3月8日(日)

日本看護研究学会中国・四国地方会事務局
〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3
広島大学大学院保健学研究科内



運営委員長 宮腰由紀子(広島大学大学院保健学研究科)

わが国の医療制度が抱える複雑な諸問題に、人々の関心も高い昨今、看護職への期待と共に注視も暖かくかつ厳しくなっております。それに応じるべく、看護制度改革に向けた論議が活発に行われています。その成果の1つとして、平成21年4月1日から看護教育の新カリキュラムが始まりますので、現在、教育機関と実習施設では準備を着々と進めています。一方で、看護職が関与した事故・事件も後を絶ちません。勿論、ヒューマン・エラーとして理解できるものもありますが、知識や情報の欠落または見落としなど、常識と思われる基盤に問題の原因がある場合も少なくありません。

このような教育実践と臨床実践を支える知識や技術について、研究で見出された新しい知識や正しい知識などの成果を会員の皆様にお伝えしていくことはもとより、その基盤となる研究方法などの検討と普及も、学会活動の大切な使命の1つであると存じます。中国・四国地方会でも、そうした活動の充実に努力を重ねておりますが、会員の皆様にとって有益で身近に感じていただけるような地方会活動であるためには、会員のお一人お一人の積極的な活動参加が必要です。ぜひ、地方会学術集会の御参加はもとより、運営委員会などの活動へも御意見をお寄せいただきますよう、お願い申し上げます。

第21回学術集会が岡山で開催されました

第21回学術集会 in 岡山

「臨床における研究と基礎研究の融合」

第21回学術集会実行委員長 岡山県立大学 村上生美

「臨床における研究と基礎研究との融合」のテーマのもと第21回学術集会を平成20年3月2日総社市の岡山県立大学キャンパスで開催しました。今日、看護研究は盛んに行われているけれど、基礎研究と臨床研究あるいは研究手法の相違による乖離を感じるものが少なくありません。そこで上記テーマのもと、新たなメタ理論「構造構成主義」を発表された西條剛央氏(日本学術振興会)を迎えて「構造構成主義とは何か」と題した特別講演を、引き続き野島良子氏(日本看護研究学会)、高木廣文氏(東邦大学医学部)と3者によるシンポジウム「看護における構造構成主義の可能性」を行いました。また、4群の口演(16題)、9群の示説(27題)の研究発表ならびに、2つの特別セミナー(学術委員会主催・研究学会将来構想検討委員会企画)と過密になりましたが多く方に参加していただき(約220名)、またさまざまな方面からのご協力を得て恙なく終了し、皆様に感謝申し上げます。次第です。

第21回学術集会に参加して

岡山大学病院 吉尾有可

今回私は研究発表の共同研究者としてこの学術集会に参加した。メインテーマが「臨床における研究と基礎研究との融合」ということで、私たち臨床の看護師も参加しやすい会であり、実際の発表の場でも今後につながる助言をたくさんいただけてありがたかった。また、すぐにでも参考にしたい取り組みや研究結果も数多く発表されていて、大変勉強になった。

特別講演は、「構造構成主義」というのはじめて聞く内容の講演であったが、今後につながる考え方として興味深く聞くことが出来、実りの多い学術集会であった。



平成19年度事業報告

1. 第21回学術集会開催

実行委員長：村上生美氏（岡山県立大学）
 日時：平成20年3月2日（日）
 場所：岡山県立大学
 テーマ：臨床における研究と基礎研究との融合
 演題：口演16題、示説27題（計43題）
 参加者：220名（含事前登録者134名）

2. 平成19年度総会開催

日時：平成20年3月2日（日）11：30～12：00
 場所：岡山県立大学学部共通棟（南）2階8206大講義室

3. ニュース・レター No.15（平成19年9月）の発行

4. 委員会活動

1) 運営委員会

(1) 第1回運営委員会会議（平成19年7月28日：盛岡）

- ①新運営委員会（平成19年～平成21年度）の体制
事務局を広島大学大学院保健学研究科内に移管
運営委員の役割決定
- ②第21回学術集会の準備状況の説明
- ③ニュース・レターの原稿（案）検討・修正
- ④ホームページの更新（案）検討・修正
- ⑤地方会予算
- ⑥第22回学術集会実行委員長の決定
山勢博彰氏（山口大学大学院医学系研究科）
- ⑦第23回・第24回学術集会運営担当県の決定
第23回：香川県
第24回：徳島県
- ⑧第20回学術集会の報告

(2) 第2回運営委員会会議

（平成20年3月1日：岡山県立大学）

- ①平成19年度事業報告、会計報告
- ②平成20年度事業計画案、予算案等の検討

2) 学術委員会

- (1) 第1回学術委員会の開催（平成19年7月28日）
平成19年度「特別セミナー」の企画・内容を検討
- (2) 日本看護研究学会「国際活動推進に関わるワーキンググループ」からの問い合わせについて
地方会「特別セミナー」と本学会「特別セミナー」の2コースにおける「英文抄録の書き方」をテーマとした講義およびワークショップの開催を了承
- (3) 「特別セミナー1」の開催
日時：平成20年3月2日（日）12：30～13：20
（第21回学術集会時）
場所：岡山県立大学 8102講義室
テーマ：＜看護研究：看護論文作成のために＞
求めるもの、伝えるもの
～冷静な情熱で緻密に攻勢する研究と
その表現世界へあなたも挑みましょう～
担当者：宮腰由紀子先生（広島大学）
片岡万里先生（高知大学）
- (4) 平成20年度事業計画案
第22回学術集会（山口大学）にあわせて平成20年度特別セミナーの検討

3) 広報委員会

- (1) ニュース・レターNo.15（平成19年9月）を発行
- (2) 中国・四国地方会ホームページの更新
学会HPより中国・四国地方会HPがログイン可能に
管理は岡山大学より広島大学へ移行



（円）

【支出の部】

項 目	予 算	決 算
郵送通信費	80,000	77,930
事務費	30,000	32,424
人件費	30,000	28,000
各種委員会活動費	130,000	65,164
印刷費	80,000	100,800
ホームページ管理費	70,000	36,750
記念事業等積立金	20,000	20,000
ホームページ運用積立金	20,000	20,000
予備費	30,000	0
次年度への繰越金	89,564	218,789
合 計	579,564	599,857

平成19年度会計報告

【収入の部】

（円）

項 目	予 算	決 算
前年度繰越金	199,553	199,553
地方会補助金	380,000	400,000
雑収入	11	304
合 計	579,564	599,857



平成20年度事業計画

- 第22回学術集会開催
実行委員長：山勢博彰氏（山口大学大学院医学系研究科）
場所：山口大学医学部内
日時：平成21年3月8日（日）
- 平成20年度総会開催
第22回学術集会開催時（山口大学医学部内）
- ニュース・レター No.16発行
編集：広報委員会
- 委員会活動
 - 運営委員会
第1回：兵庫（神戸市）
第2回：山口（宇部市）
 - 学術委員会
第22回学術集会時に特別セミナーを企画、運営
 - 広報委員会
(1) ニュース・レター No.16発行（9月頃発行予定）
(2) 中国・四国地方会ホームページの更新

平成20年度予算

【収入の部】

(円)

項 目	19年度実績	20年度予算
前年度繰越金	199,553	218,789
地方会補助金	400,000	400,000
雑収入	304	304
合 計	599,857	619,093



【支出の部】

(円)

項 目	19年度実績	20年度予算
郵送通信費	77,930	80,000
事務費	32,424	30,000
人件費	28,000	30,000
各種委員会活動費	65,164	80,000
印刷費	100,800	90,000
ホームページ管理費	36,750	40,000
記念事業等積立金	20,000	20,000
ホームページ運用積立金	20,000	20,000
予備費	0	30,000
次年度への繰越金	218,789	199,093
合 計	599,857	619,093

お知らせ

【学術委員会】

平成19年度は第21回学術集会にあわせて学術委員会企画の特別セミナーを開催しました。論文作成に焦点を当ててテーマを「求めるもの、伝えるもの」とし、「疑問を持つ」「先行研究の検討」「何をどのように」「実行上の注意」「分析と解釈」「まとめかた」の小題で担当者（広島大学：宮腰由紀子氏、高知大学：片岡万里氏）の豊かな経験による話題が提供され、これから取り組む者だけでなく、すでに計画している者にとってもヒントが得られたと思います。平成20年度も会員のニーズに応えられるように準備したいと考えております。

（学術委員長：村上生美）

【広報委員会】

中国・四国地方会広報委員会では、ニュース・レター16号の発行とホームページの更新をいたします。会員相互の交流と情報交換の場、また看護学を発信する場として皆様からの声をもとに内容の充実を図りたいと思います。皆様方からのご意見や看護研究活動また地域性溢れる看護情報等をお待ちしています。

（広報委員長：猪下 光）

【事務局】

広島大学のサーバーに「中国・四国地方会事務局」を設定して、2年目を迎えました。皆様には、地方会運営のための事務処理を円滑に行うために多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。お陰様で、運営委員会と本部との通信は順調に進んでおります。今後とも、中国・四国地方会活動の更なる充実に貢献できますように、より円滑な運営を目指し努力をして参る所存です。どうぞ変わらぬご指導ご助言の程を宜しくお願い致します。（事務局長：藤井宝恵）



日本看護研究学会中国・四国地方会第22回学術集会のご案内 テーマ 「臨床看護研究にいかす研究デザイン」

開催日:2009年3月8日(日)
実行委員長:山勢博彰(山口大学)
開催地:山口県(山口大学医学部内)

プログラム

午前の部

- 1) 開会式
- 2) 一般演題(口演・示説)
- 3) 総会

午後の部

4) 中国・四国地方会学術委員会企画特別セミナー

- 特別セミナー1:「これから研究を始める人のために」(仮)
特別セミナー2:「これまで研究をしてきた人のために」(仮)
特別セミナー3:「英文抄録の書き方」(仮)

5) 特別講演とシンポジウム

○特別講演「看護研究で活用できる臨床研究デザイン」

講師:操華子(国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)

司会:山勢博彰(山口大学大学院医学系研究科)

○シンポジウム:臨床看護研究における研究デザイン—研究目的をかなえる研究デザインを求めて

シンポジスト

操華子(国際医療福祉大学小田原保健医療学部)

中山健夫(京都大学大学院)

掛田崇寛(川崎医療福祉大学)

司会:

田中マキ子(山口県立大学)

佐藤美幸(宇部フロンティア大学)

6) 閉会式

◎問い合わせ先:日本看護研究学会中国・四国地方会 第22回学術集会事務局

〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1 山口大学大学院医学系研究科 山勢研究室

TEL & FAX 0836-22-2808 E-MAIL:jsnr22@yamaguchi-u.ac.jp

URL: <http://y-nurs-r.umin.ne.jp/jsnr22/>



山口大学医学部

実行委員長より会員の皆様へ

看護研究には、様々な看護現象を科学的に記述したり、より質の高い看護実践を見出したり、看護学の体系化に寄与することなどの目的があります。研究のための研究ではなく、研究の成果が臨床に還元されながら、これらの目的を果たすことが大事です。そのためには、研究によって得られた知見が、科学的であり、根拠のあるものになっている必要があります。科学的根拠(エビデンス)のある研究をするためには、しっかりした研究デザインが欠かせません。研究デザインの善し悪しが、研究の質を決めるといっても過言ではありません。

この度の第22回中国・四国地方会学術集会は、「研究デザイン」をキーワードにしたテーマ、特別講演、シンポジウムを企画しました。改めてデザインと言うと、近寄りがたいイメージを抱くかも知れませんが、決して難しいものではありません。臨床看護研究にいかす研究デザインについて、一緒に学びましょう。

発行:日本看護研究学会中国・四国地方会事務局

〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 広島大学大学院保健学研究科内

Tel:082-257-5355

発行責任者 日本看護研究学会中国・四国地方会運営委員長 宮腰由紀子

編集責任者 広報委員長 猪下光

